

柏市在宅ケア市民集会2014

いつまでも暮らし続けられる柏のまちを考える
 — 柏市における地域包括ケアシステムの構築 —

パネルディスカッション
 住民レベルの取り組みを考える

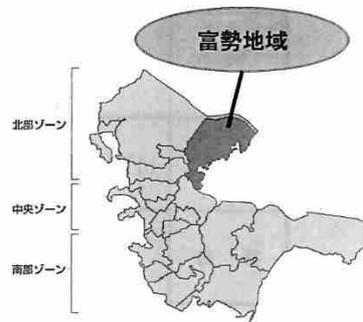


富勢における取り組み

わがまち富勢のあらまし

2

- 柏市の東北部に位置し、利根川・手賀沼と面し、利根川沿いには、関東三弁天のひとつ、布施弁天やあけぼの山公園がある。毎年10月の八朔相撲は地域の伝統行事のひとつ
- 北柏駅を中心に住宅地が広がり、老人保健施設併設の市立柏病院が立地
- 町会・自治会は21、県立高校、中学校1、小学校は3校



わがまち富勢はいま！

3

- 富勢地区の人口は2万4704人
- 65歳以上人口の割合を示す高齢化率は、柏市全体で22.3%、富勢は24.6%。20圏域中9位

(人口・%)

	人 口	65歳以上人口 (高齢化率・順位)	
		数	率・順位
柏 市	403,783	90,089	— (22.3% —)
富 勢	24,704	6,064	6位 (24.6% 9位)

資料：柏市データ

わがまち富勢はいま！

4

- 富勢地区の世帯数は1万934世帯
- 高齢者独居は全世帯の11.4%、高齢者のみ世帯は22.5%であり、世帯全体の4分の1を占める

(人・%)

	世帯数	高齢者関連世帯			
		高齢者 ひとり暮らし	ひとり暮らし 全世帯	高齢者のみ の 世帯	高齢者のみ の 世帯/ 全世帯
柏 市	172,425	18,415	10.7%	36,367	21.1%
富 勢	10,934	1,248	11.4%	2,460	22.5%

資料：柏市データ

わがまち富勢はいま！

5

- 富勢地区の要支援者・要介護者数は824人
- 要介護別では、要介護1と2の方が最も多い

(人・%)

	要支援者・要介護者数 (号被保険者) 要支援・要介護合計 認定率・認定率順位)	要支援	要支援	要介護	要介護	要介護	要介護	要介護
		1	2	1	2	3	4	5
柏市	12,161 (3.5% —)	1,445	1,406	2,769	2,390	1,606	1,314	1,231
富勢	824 (3.6% 10位)	80	90	195	185	98	89	87

資料：柏市データ

わがまち富勢はいま！

6

- 富勢地区の要支援・要介護認定者824人のうち、ひとり暮らしの方は348人、認知症*の方は437人

* 認知症自立度IIa（日常生活に支障をきたす症状・行動や意思疎通の困難さが多少見られても誰かが注意していれば自立できる）ランクかそれ以上の重度の方

(人)

	要支援・要介護認定者	認知症数	
		ひとり暮らし	認知症自立度 IIa以上
柏市	12,161	5,275	6,431
富勢	824	348	437

資料：柏市データ

わがまち富勢はいま！

7

- 富勢地区の人口は2万4704人。
- 65歳以上人口の割合を示す高齢化率は、柏市全体で22.3%、富勢は24.6%。20圏域中9位

(人口・%)

	人 口	65歳以上人口 (高齢化率・順位)
柏 市	403,783	90,089 — (22.3% —)
富 勢	24,704	6,064 6位 (24.6% 9位)

ふる協, 地区社協(福祉協)
平成22年統合

資料: 柏市データ

超高齢社会にむけたまちづくりのあゆみ

8

富勢地域ふるさと協議会・福祉事業部会の取組み

- 平成22年に、ふる協と地区社協の組織統合を行った。
- ふる協内に福祉事業部会を立ち上げ。支え合い、サロン、障害者支援、ボランティア等に分かれ活動に取り組む。
- 今年度より、ふる協として、在宅ケア・医療問題を主要なテーマとして位置づけることとなった。



超高齢社会にむけたまちづくりのあゆみ

9

協議会内部に

「在宅ケア・医療問題取組み委員会」を設置

- 在宅ケア・医療問題は、ふる協全体に関わる問題としたうえで、9月14日の役員会において、ふる協内部に、「取組み委員会」の設置を提案
- 準備期間を経て、同11月29日、第1回「富勢地域ふるさと協議会：在宅ケア・医療問題取組み委員会」開催。
- 委員会の構成は、会長・副会長・事務局長・委員（ふる協各部の一部役員・地区代表委員・行政連代表・ケアマネ等）+オブザーバー（市役所、社協、地域包括、T高総研等より選出）

超高齢社会にむけたまちづくりのあゆみ

10

12月7日には「地域懇談会」開催

講演会・ワークショップには53人が参加

- 12月7日に、ふる協・福祉事業部の主催による、「地域懇談会」を開催
- 本課題をテーマに講演会・グループワークを行った



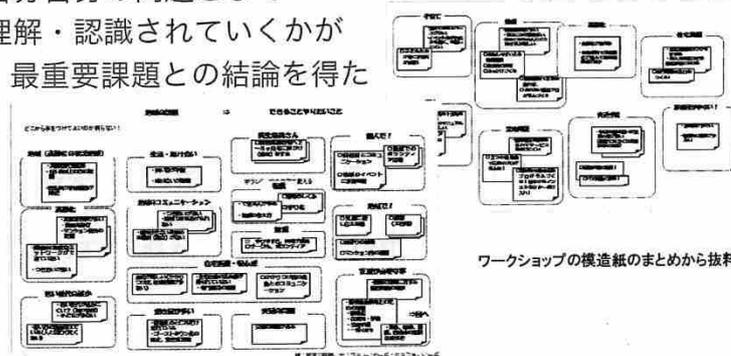
超高齢社会にむけたまちづくりのあゆみ

11

住民が、地域課題を共有することが大切

- その結果、在宅ケア・医療に係る問題が、地域住民を含め、自分自身の問題として

理解・認識されていくかが
最重要課題との結論を得た



わがまち富勢を考える 一富勢の課題一

12

<少子・高齢化の進行>

- 高齢化が進んでいる
- 独居高齢者のひきこもり
- 若い単身世帯との関係が築けない
- 子どもと地域との交流をより深めていく必要がある

<立地のこと>

- 町会によっては交通手段が不足している
- 柏市のサービスが受けにくい

わがまち富勢を考える ー富勢の課題ー

13

<医療・在宅ケア>

- 診療所も少なく医師の高齢化も進んでいる
- 専門機関との連携が不十分

<地域の問題>

- 空洞化・ゴーストタウン化の恐れ
- 近所づきあいを深める拠点が少ない

<防災・防犯>

- 防災（防犯）に対する取組みを、より強化する必要
- 緊急時の救急、医療、消防、自治体の線引きと連携

わがまち富勢を考える ーできること・やりたいことー

14

<ボランティア活動>

- サークル活動、農業支援、ゴミ拾いなどボランティアへの関心、やりやすさ
- 高齢者施設、幼稚園、保育園などでの活動

<支援のしくみづくり>

- 出来る人がやれるしくみづくり （元気な高齢者の力）
- NPOなどの組織の立ち上げ

これからのまちづくりに向けて

15

- ①ふるさと協広報紙「ふるさと富勢」に、3月号より在宅ケア・医療問題を分かりやすく解説していくコーナーを設ける
- ②希望の町会・自治会（或いはその他の団体）に対して、柏市・東大高総研などから講師派遣を得て、研修会等を実施する。（3月10日に第4回ふれあいセミナー@布施新町ふるさとセンター）
- ③在宅介護の実態を、DVDなど活用しながら学習していく。
- ④豊四季台に始まる新システムへの理解を深める（柏市からの協力を得て）
- ⑤本日の市民集会に本委員会として参加し、これまでの経緯と今後のことなどに関して発表する

16

□ ご清聴ありがとうございました



平成26年3月 富勢地域ふるさと協議会 副会長 手塚 建二氏